



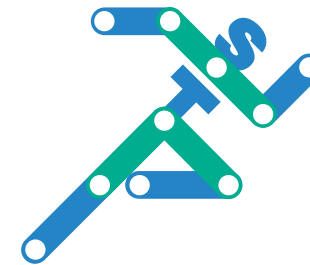
02

2019  
sata  
orthopedic  
hospital

# SATA+DAY



photo is Suma Hayashida



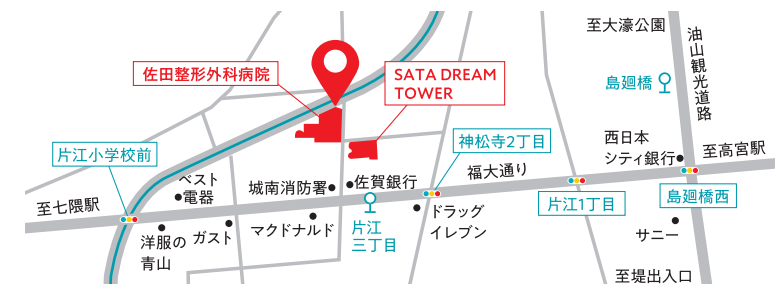
医療法人社団 正樹会  
**佐田整形外科病院**

日本医療機能評価機構（一般病院）認定取得病院



〒814-0121 福岡市城南区神松寺2-19-2

TEL.092-864-6556



## 診療科目

●整形外科 ●形成外科 ●内科

スポーツ整形／一般整形／こどもスポーツ専門外来／  
脊椎外来／ラン&ウォーク外来

●リハビリ 運動器リハビリ／アスレティックリハビリテーション

## 受付時間

●平 日／午前 8:45～11:00 午後 13:45～17:00

●土 曜／8:45～13:00 ※初診は12:00まで

●休 診／土曜午後・日・祝日

## 面会時間

●月～土／13:00～20:00 ●日・祝日／10:00～20:00

## アクセス

### 西鉄バス

●博多バスターミナル発

13 呉服町-天神経由 島廻橋バス停下車→徒歩約10分

113 キャナルシティ博多-天神経由 島廻橋バス停下車→徒歩約10分

●JR博多口 博多駅前Bのりば発（博多マルイ前）

16 西鉄薬院駅経由 片江三丁目バス停下車→徒歩約5分

### 高速道路

福岡都市高速道路 提出入口→「堤」交差点右折→油山観光道路を北上  
→「島廻橋西」交差点左折→「佐賀銀行」と「城南消防署」の間の道へ右折

フリーアナウンサー・大野城まどかびあ館長の林田スマさんをお招きし、佐田院長と「ことば」をテーマに語ってもらった。

**林田** コミュニティやコミュニケーションの頭にある「c o m m」はともに分かち持つという意味があると聞いたことがあります。怪我が治ったときに「良かったですね」と声をかけることも医師のコミュニケーションのひとつですよ。

**佐田** 共感はとても大事なことです。色々な所で診てもらったけど原因は不明。当院で原因が見つかり「良かったですね」と声をかける。すると「やっと治せる!」と涙を流される患者さんもいます。

**林田** 人はことばを求めて生きています。ひとつのことは涙が出るくらい心が動くこともあれば、トゲのように胸に刺さって取れないこともある。ずっと残るものです。

**佐田** テレビに出させていただくようになり、患者さんへの話し方や対応を今まで以上に気をつけるようになりました。伝えるだけでは駄目で、相手に伝わって初めて成り立つんです。

**林田** 佐田先生はご自身がスポーツを通して喜びも辛さも体感されている。その経験があるからこそ、患者さんへの寄り添い方は経験がない医師とは違った共感があるのだと思います。

**佐田** そこは私と他の医師との違いと言えるのかもしれませんが。そこにポリシーを持つて接しています。スポーツ選手や患者さんの目線に立つ為には、自分が現役である必要があると考えています。どの病院でも運動はやめた方がいいですと言われてきた患者さんも、当院ではどうしたら運動が出来るかをアドバイスしています。「私も色々故障もあるけど、なんとか続けられている。だからあなたも工夫と努力で続けられますよ」と。最後に当院へ来て良かったと思ってもらえたら、心の中でガッツポーズしますね。(笑)

**林田** もう23年前のことですが、私の母が亡くなるまでお世話になった先生がいました。母が体調を崩し容態が悪くなるとき、電話越しにその先生は泣いてくださったんです。それは医者としてではなく、「人」としてだったんだと思います。その思いに対して私はお返しが足りてないと思います。患者というものは、先生方が思っている以上に言って頂いた事、して頂いた事を覚えているものなんですよね。

**佐田** ことばは生き物。医療の世界でもメディアの世界でも「共に分かち持つ」ということを大切にしていきたいですね。⑤

## 特集

# 言葉と健康

# 「共に分かち持つ」

フリーアナウンサー  
大野城まどかびあ館長

## 林田 スマ

### profile

元RKB毎日放送アナウンサーで、ラジオ深夜番組「スマッシュ!!11」を担当。現在もRKB「今日感テレビ」「林田スマのお母さんにバンザイ」などテレビやラジオ番組に出演する他、様々な企業の社外取締役も努め、企業やPTAの講演などを行っている。

佐田整形外科病院 院長

## 佐田 正二郎

### profile

病院院長として医療に従事しながら、健康イベントや自らのバンドを率いる音楽イベントも開催している。また、スキーマの現役国体出場選手であり、TVやラジオ番組にも数多く出演するなど、マルチに活躍している。





市民のためのSATA健康教育セミナー

林田スマ氏講演会

# 「ことばの花束」

思いやりをもって

相手に寄り添い、

心の温度を量る。

当院では、毎年11月に地域の方々へ向けて「市民のためのSATA健康教育セミナー」を開催している。12回目となる今年は、林田スマさんを講師にお招きし、「ことばの花束」をテーマに日

頃の生活の中でことばがどんな力を持ち、周囲にどう影響を与えるのかを講義いただいた。

医療の現場でも家庭でも思いやりを持ったことばが一番大切と林田さんは言う。「初めて来院された患者さんへの説明や夫婦の会話、職場でのコミュニケーション。共通して大切なのは相手の立場に立ち、相手に寄り添えるかどうかという事。そしてそのためにはまず自分を知ること。言葉は自分を知るためのツールなんです。他人の事はよく分かるし、よく見える、でも自分のことはなかなか分からない。そんな時に相手にどんな言葉を使っているか振り返ることで自分のことが見えてくる。会話をするときには、相手の言葉を受け止め、同じ言葉を重ねる。それだけでも相手に寄り添うことができると思います。」

「ある企業の新人研修の際、前方で明らかに話を聞く気のない若い男の子がいました。私は彼に『5分間だけ、私が話す間、横に立って皆の顔を見てください』と壇上に上がってもらいました。5分後、『どうでした？』と尋ねると『聞いている人と聞いていない人の違いが良く見える。それと、ひとつの相槌がこんなに嬉しいものなんだと強く感じた』と言ってくれたのです。その後、席に戻った彼は鞆からメモを取り出して本当に熱心に私の話を聞いてくれました。立場を変えると色々な事が見えてくることを実感しました。」

思いやりを持って相手に寄り添い、心の温度を量る。これからの私達に大切なことは何かをあらためて考える貴重な講演となった。⑤

